

(5) 看護科

ア 現状

(ア) 我が国の看護科教育を取り巻く状況

急速な少子高齢化の進展，医療技術の進歩等，我が国の看護をめぐる環境は大きく変化してきており，看護職員にはより患者の視点に立った質の高い看護の提供が求められている。一方で，看護業務が複雑化・多様化し，国民の医療安全に対する意識が向上していることから，生徒が看護技術を実習する範囲や機会が限定される傾向にある。

(イ) 技術革新に対応した整備

平成9年の広島県地方産業教育審議会答申に示された「技術革新への対応」を受け，平成16年度に，総合的かつ実践的な実習ができる設備を整えた看護実習室，高齢化に対応して老年看護・在宅看護実習ができる施設・設備をもつ実習室を広島皆実高等学校衛生看護科に整備した。

(ウ) 看護科における教育内容

看護に関する学科においては，次のような取り組みを行っている。

高齢化，医療技術の高度化，患者のニーズの多様化等に対応して，看護に関する専門性と豊かな人間性とを備えた看護師を養成するため，老年看護，医療福祉，地域医療等に関する教育内容を充実するよう取り組んでいる。また，実践的，体験的な学習を通して，看護の心を育成する看護教育を推進している。

さらに，医療の高度化・専門化に伴う看護技術の高度化や在宅医療，介護ニーズの多様化に伴う看護業務の拡大に対応して，高度な専門知識と技術を身に付け，心の通う看護を提供できる看護師を養成するための看護師教育を実施している。

(エ) 生徒の進路状況

平成20年3月の広島皆実高等学校衛生看護科39人の卒業者の進路状況を

見ると、38人が専攻科に進学した。また、平成20年3月の専攻科修了者35人全員が看護師国家試験に合格し、そのうち34人が看護師として就職している。平成10年以後、ほぼ全員が看護師国家試験に合格している。

イ 課題

(ア) 教育内容面の課題

看護に関する学科においては、次の教育内容の改善・充実を図る必要がある。

- a 医療の高度化、患者の高齢化・重症化等に対応したフィジカルアセスメントや看護診断等に関する専門性の高い看護判断能力の育成など、社会の要請に対応した教育内容の充実
- b 安全管理技術や医療機器等に関する安全で確実な看護技術を身に付けさせるための教育内容の充実
- c 看護倫理・コミュニケーション能力・人権を尊重する態度などの豊かな人間性を身に付けた人材を育成する教育内容の充実
- d 看護に関する各科目で学習した内容を臨地で実際に活用するための知識と技術を統合した教育内容の充実

(イ) 教育環境面の課題

- a 社会の要請に対応した看護師を養成するための、看護科教員の確保・教員の資質向上
- b 医療の高度化に対応した施設・設備の整備、医療機器等の継続的な整備
- c 臨地実習先の継続的な確保
- d 高度な医療等に対応した専門分野に関する医師講師等の確保

(ウ) 継続学習への対応にかかわる課題

専攻科修了後 ,大学に編入して専門的な教育を受けることを希望する生徒に対応するため ,大学と連携して専攻科の教育課程を工夫する必要がある。